

「自然共生都市づくり」の 今後の進め方について





❖ 目次 ❖

I 杜の都環境プラン「自然共生都市づくり」【3-5p】

II 定量目標

- ・ 目標の進捗状況（みどりの総量，猛禽類生息環境，生きもの認識度）
【6-8p】
- ・ 目標に係る現状分析（猛禽類生息環境，生きもの認識度）【9-10p】

III 基本方向【11-12p】

IV 重点事業

- ・ 重点事業の視点【13p】
- ・ 重点事業の検討【14-15p】
- ・ 重点事業の内容
 - ①初夏の音～カジカガエルが誘う里地里山の魅力発見～【16-17p】
 - ②夏の音～カッコウを呼び戻せ！ヨシ原活用大作戦～【18-19p】
 - ③秋の音～将軍も愛でた伊達の虫の音～【20-21p】

I 杜の都環境プラン「自然共生都市づくり」

❖ 目指す環境都市像 「自然共生都市」仙台

自然や生態系が大切にされ，その恵みを享受できる都市

❖ 定量目標

- ① みどりの総量について，現在の水準を維持・向上させます
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます

❖ 施策体系

- (1) 豊かな自然環境を守り，継承する
 - ア 自然環境の保全・再生
 - イ 生物多様性に関する知識を高め保全を推進
- (2) 自然の恵みを享受し，調和のとれた働きかけをする
 - ア 里地里山の環境保全機能を維持
 - イ 野生動物と適正な共存関係を保つ
 - ウ 自然の恵みを通じたふれあいの充実
- (3) 生態系をつなぎ，親しみのある市街地の緑化を進める
 - ア 市街地の緑を守る
 - イ 市街地の緑を増やす
- (4) 豊かな水環境を保つ
 - ア 健全な水循環の確保
 - イ 水辺環境の保全・創造の推進

❖ 実施事業（全80事業）

- (1) 豊かな自然環境を守り，継承する
 - ・ アセスメント制度の運用やシジュウカラガンの羽数回復事業など（12事業）
- (2) 自然の恵みを享受し，調査のとれた働きかけをする
 - ・ 中山間農地への交付金や民有林の育林振興など（31事業）
- (3) 生態系をつなぎ，親しみのある市街地の緑化を進める
 - ・ 生垣づくり助成や建築時における緑化義務など（16事業）
- (4) 豊かな水環境を保つ
 - ・ 水道水源林の保全・育成やダム周辺の清掃など（28事業）

※重複があるため，各施策の事業の合計は80にならない。

Ⅱ 定量目標

目標の進捗状況（みどりの総量）

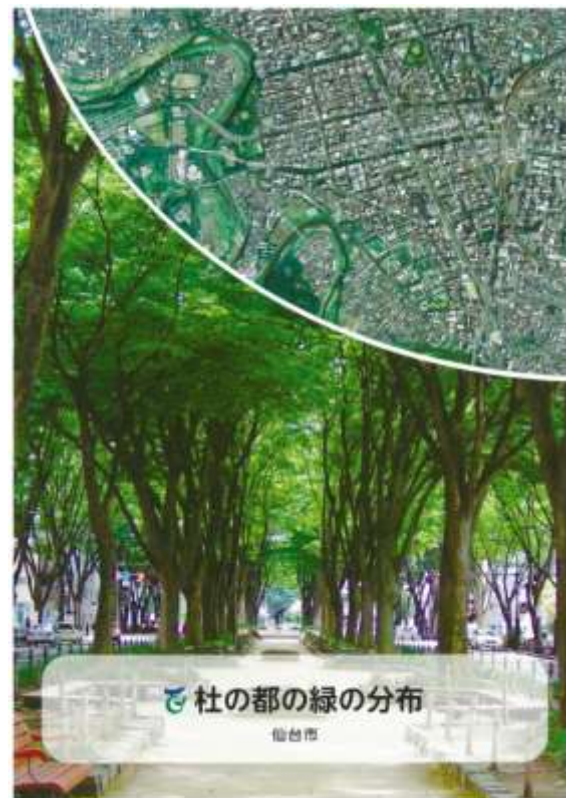
- ① みどりの総量について，現在の水準を維持・向上させます。
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます。

航空写真をもとに，緑被率（市域面積における緑地※面積の割合）を算出。

※緑地…樹林地・草地・農地・水面

| 平成21年度 （基準値） | 平成26年度 （中間評価） |
|-----------------|------------------|
| 78.8% | 79.3% |

進捗○

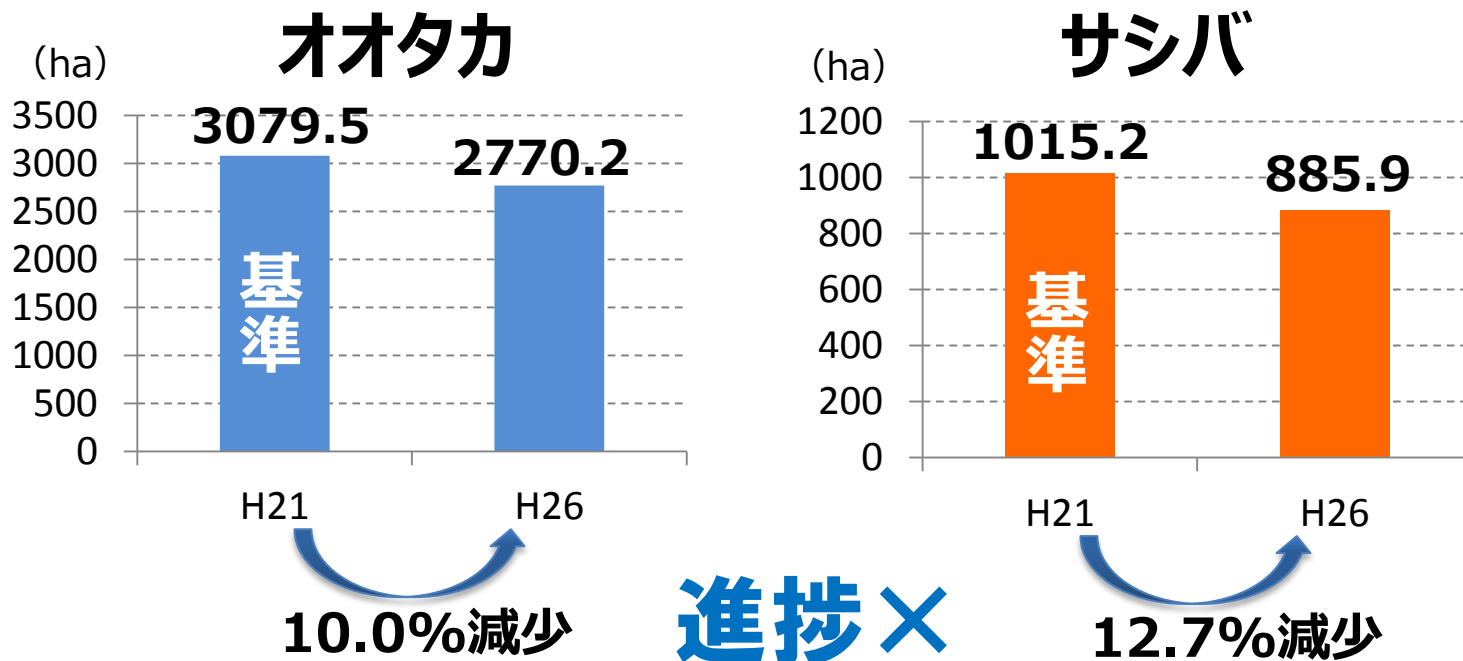


Ⅱ 定量目標

目標の進捗状況（猛禽類生息環境）

- ① みどりの総量（緑被率）について、現在の水準を維持・向上させます。
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます。

オオタカとサシバについて、都市計画区域内の生息適地面積を推定。



オオタカとサシバについて、生息地適地面積はともに減少

Ⅱ 定量目標

目標の進捗状況（生きもの認識度）

- ① みどりの総量（緑被率）について、現在の水準を維持・向上させます。
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます。

中学生とその家族を対象に、身近な生きもの9種についてアンケートを実施

※9種合計900%中の値

| 平成22年度 （基準値） | 平成27年度 （中間評価） |
|-----------------|------------------|
| 448.4% | 386.4% |

進捗×

9種の生きもの：ツバメ、カッコウの鳴き声、モンシロチョウの仲間、アゲハチョウの仲間、セミの鳴き声、ホタル、トンボ、カブトムシ・クワガタムシ、ウマオイの鳴き声



Ⅱ 定量目標

目標に係る現状分析（猛禽類生息環境）

- ① みどりの総量（緑被率）について，現在の水準を維持・向上させます。
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます。

❖ オオタカ

震災による海岸林の消失の影響が大きい。

➡ 海岸林の復旧（国）や沿岸地域での植樹（建設局）等による回復が見込まれる。



❖ サシバ

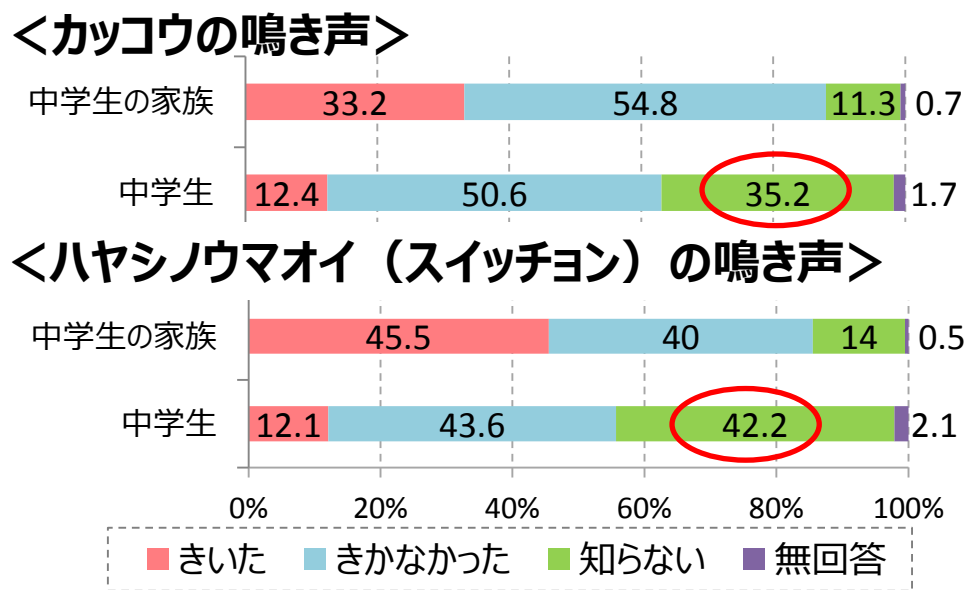
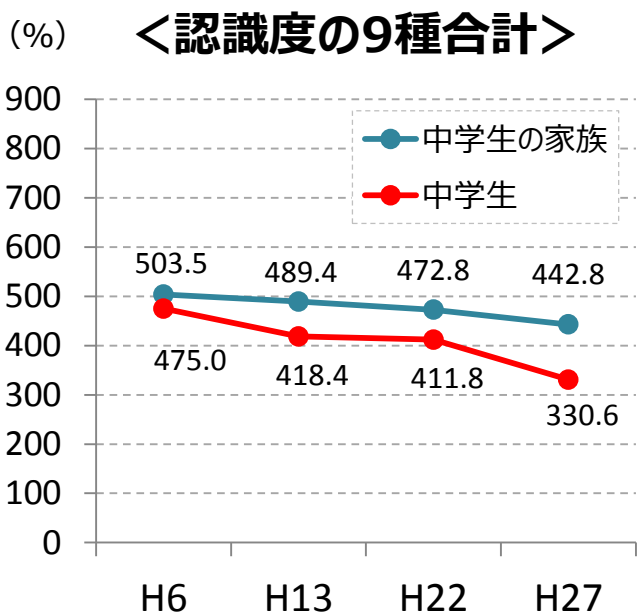
西部丘陵地の水田減少や樹林伐採の影響が大きい。

➡ 里地里山の活力アップのため，農林業の振興（経済局）等に加え，里地里山の魅力を市民に広く知ってもらうための取組が必要。

Ⅱ 定量目標

目標に係る現状分析（生きものの認識度）

- ① みどりの総量（緑被率）について，現在の水準を維持・向上させます。
- ② 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。
- ③ 身近な生きものの市民の認識度を現在よりも向上させます。



特に中学生で認識度の低下が大きい。また，カッコウなどの鳴き声を知らない中学生も目立つ。

➡ 「音」に焦点をあて，生きものに興味を持たない子どもや大人が生きものに関心を持つきっかけづくりが必要。 10



Ⅲ 基本方向

❖ 重点的な取組（重点事業）の推進

進捗に遅れがみられる定量目標があるため、現在の取組に加え、目標の達成に向けた新たな取組を実施。

❖ 施策の総合的な推進

杜の都環境プラン「自然共生都市づくり」と、新たに取組む重点事業を合わせ、本市の生物多様性地域戦略※として位置づけ、自然共生都市づくりを総合的に推進。

※ 生物多様性基本法において自治体に策定の努力義務が課せられている、生物の多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な計画

本市における生物多様性地域戦略

(平成23～32年度)
杜の都環境プラン
「自然共生都市づくり」

- ・ 目指す都市像
- ・ 施策体系
- ・ 定量目標
- ・ 実施事業(80事業)

(平成29～32年度)
重点事業

これまでの「自然共生都市づくり」の取組みに加え、平成29年～32年度の4年間に重点事業を実施

仙台の自然や生きものの特性を踏まえた
自然共生都市づくり

重点事業の視点

- ❖ 里地里山の魅力発信や生きものへの関心向上を推進
- ❖ 市民の仙台の自然に対する愛着を深めるとともに、自然を守り、生きものと共生する機運を醸成
- ❖ 「仙台らしさ」を象徴する生きものを事業のテーマに設定

重点事業の検討

❖ 仙台と関わりのある代表的な生きもの

| 植 物 | 本市の文化や歴史との関わり |
|-----|----------------------------|
| ケヤキ | 市の木，青葉通・定禅寺通のシンボル，光のページェント |
| ハギ | 市の花，公園等に多く植栽，ミヤギノハギやセンダイハギ |
| モミ | 天然記念物「青葉山」はモミの原生林として知られる |
| タケ | 伊達家の家紋「竹に雀」，七夕飾り，名物「笹かま」 |

| 動 物 | 本市の文化や歴史との関わり |
|--------|-------------------------------|
| カジカガエル | 「広瀬川のカジカガエルと野鳥」は「音100選」の一つ |
| カッコウ | 市の鳥，勾当台公園の改札の音，田植え時期の知らせ |
| スズムシ | 市の虫，「宮城野のスズムシ」は「音100選」の一つ |
| スズメ | 伊達家家紋「竹に雀」，仙台すずめ踊り，icscaのシンボル |
| イヌワシ | 楽天イーグルス・ベガルタ仙台のシンボル |
| サケ | 広瀬川に遡上，広瀬川サケプロジェクト |

重点事業の検討

❖ 着目する生きもの

「カジカガエル」, 「カッコウ」, 「スズムシ」

初夏

夏

秋

里山地域

東部田園地域

市街地

- 【選定の着眼点】
- ・ 仙台らしさを象徴する
 - ・ 里地里山環境を好む
 - ・ 鳴き声などの「音」に特徴がある

❖ 実施事業

- ① 初夏の音 ～カジカガエルが誘う里地里山の魅力発見～
- ② 夏の音 ～カッコウを呼び戻せ！ヨシ原活用大作戦～
- ③ 秋の音 ～将軍も愛でた伊達の虫の音～

IV 重点事業

事業の内容①初夏の音

日本一美しい声で鳴くカエル

古来から和歌や物語、小説等にも多く登場し人々に親しまれてきた

大小の石が散在する河床・河原や川周辺の森林に生息



カジカガエル

フイフイフイフイ...

写真出展：環境省ホームページ

鹿の鳴き声に似るため「河鹿」の名前がある

溪流を好むが、広瀬川では下流の方まで生息

「広瀬川のカジカガエルと野鳥」は「音風景100選」の一つ

事業の内容①初夏の音

～カジカガエルが誘う里地里山の魅力発見～

❖ 対象地域

里地里山地域を中心とした，河川及びその周辺
(広瀬川流域・名取川流域・七北田川流域)

❖ 取組内容

- ・ 市民，専門家，温泉組合等の商工業者等から生息情報を収集し，現地調査の上，**カジカガエル生息地マップ**を作成（平成29年度）
- ・ 里地里山地域の農家や商工業者，市民団体と連携し，カジカガエルの声と地域の暮らし・営みを学ぶ**里地里山エコツアー**を実施（平成30年度～）



IV 重点事業

事業の内容②夏の音

昭和46年にカッコウは
市民投票で市の鳥になった

カッコウの托卵先のオオヨシキリは
ヨシ原に営巣する

カッコウ

托卵

オオヨシキリ

カッコーカッコー

ギョギョシ
ギョギョシ

ヨシ (アシ)

さらさらさら...

営巣

カッコウの声は近年
あまり聞こえなく
なっている

ヨシ原は様々な動物のすみかとなる

カヤ葺き・よしず等として暮らしの中で
様々な利用され、藤塚の五柱神社には
「萱刈地の払下げ記念碑」が残る

事業の内容②夏の音

～カッコウを呼び戻せ！ヨシ原活用大作戦～

❖ 対象地域



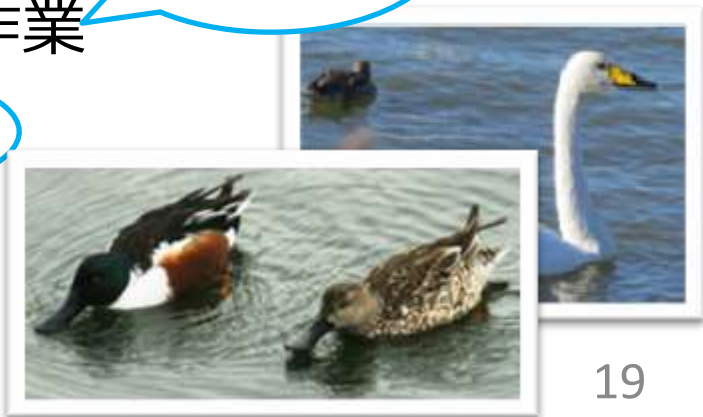
❖ 取組内容

- ・ 市民参加型のヨシ原維持管理作業
(冬季の刈取り)

自然の恵み!

- ・ 刈取ったヨシ利活用
- ・ ヨシにまつわる生きもの講座 & 野鳥観察会 (夏季, 冬季)

元気なヨシ
が生えてくる!



IV 重点事業

事業の内容③秋の音

「宮城野のスズムシ」は「音風景100選」の一つ

コロコロ...

スイーッチョン

チッチッチチ

奥州仙台名所尽集
(江戸時代)には
宮城野原で虫籠を
持つ女性が描かれ
ている

スズムシ

コオロギなど、
市街地中心部で
も楽しめる虫も
多い

昭和46年にスズムシは
市民投票で市の虫になった

リーンリーン

野生のスズムシが
みられる場所は、
現在あまりない

江戸時代、仙台藩から將軍家に「七振り
鳴く宮城野の鈴虫」が献上

IV 重点事業

事業の内容③秋の音

～将軍も愛でた伊達の虫の声～

❖ 対象地域

市街地の身近な公園等
(市民センター界隈を想定)



❖ 取組内容

- ・ 親子を対象にした，虫の音色を楽しむ会を実施
- ・ 野外観察の前には，宮城野の鈴虫をはじめ，虫にまつわる文化や歴史に関する講座もあわせて実施
- ・ 「すずむしの里づくり実行委員会」等の市民団体や市民センターと連携して行う